



# 2023年3月期 第2四半期決算補足説明資料

福山通運株式会社  
(証券コード:9075)

2022年11月9日

# 1. 連結業績

- 売上高 : 【運送事業】単価、輸送量ともに前年を上回り増加  
【流通加工事業】倉庫稼働率と単価の改善により増加  
【国際事業】海外でのトラック配送の需要拡大、海上運賃の高騰により増加
- 営業費用 : 燃料費など物件費が増加、減価償却費が減少
- 営業利益 : 売上高の増加と外注費の抑制、減価償却費の減少により増加

(単位:百万円/%)

項目	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
売上高	141,999	<b>145,325</b>	3,325	102.3
営業費用	131,041	<b>133,636</b>	2,595	102.0
営業利益 (営業利益率)	10,958 (7.7)	<b>11,688</b> <b>(8.0)</b>	730	106.7
経常利益 (経常利益率)	11,279 (7.9)	<b>12,350</b> <b>(8.5)</b>	1,071	109.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,569	<b>8,056</b>	486	106.4

## 2. 営業費用

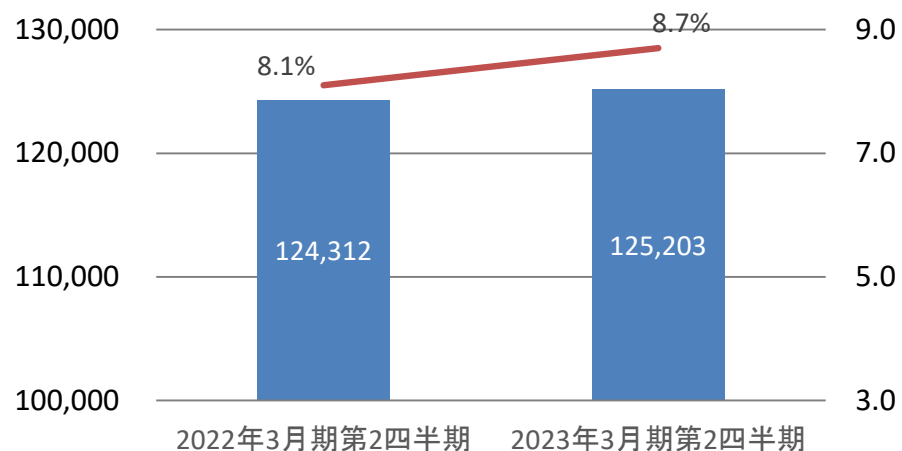
- 人件費：外注人件費は減少したものの、従業員給料が増加
- 物件費：価格の高騰により燃料費が増加
- 諸費：海上運賃の高騰により国際関係費用が増加
- 減価償却費：車両更新が進まず減価償却費が減少

(単位:百万円/%)

項目	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
人件費	63,380	<b>63,590</b>	210	100.3
物件費	44,102	<b>46,514</b>	2,412	105.5
諸費	15,309	<b>16,332</b>	1,023	106.7
減価償却費	8,249	<b>7,198</b>	△ 1,050	87.3
営業費用	131,041	<b>133,636</b>	2,595	102.0

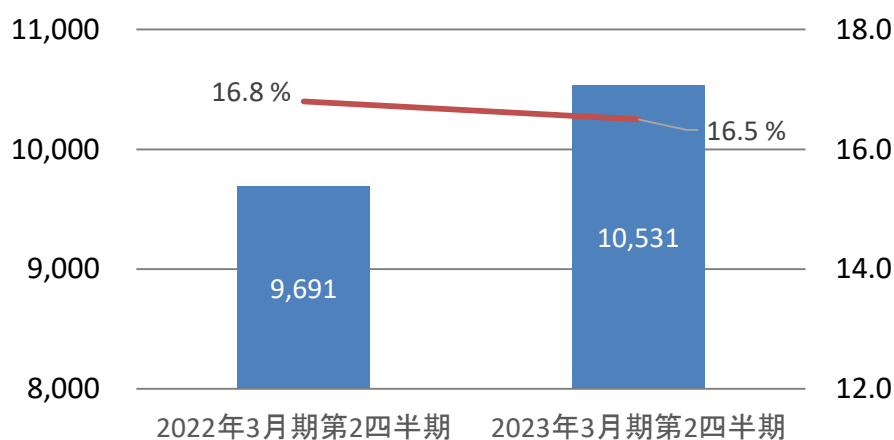
# 3. 事業別売上高と利益率

運送事業(ネットワーク・チャーター・引越など  
当社グループの中核事業)

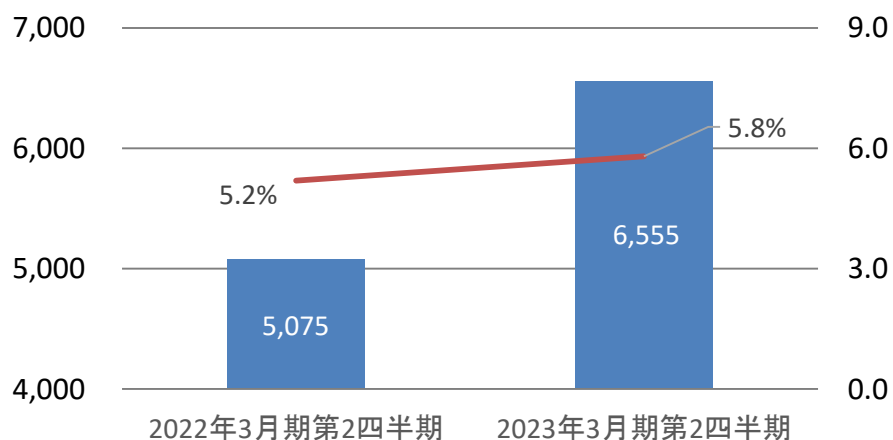


流通加工事業(貨物保管・物流加工)

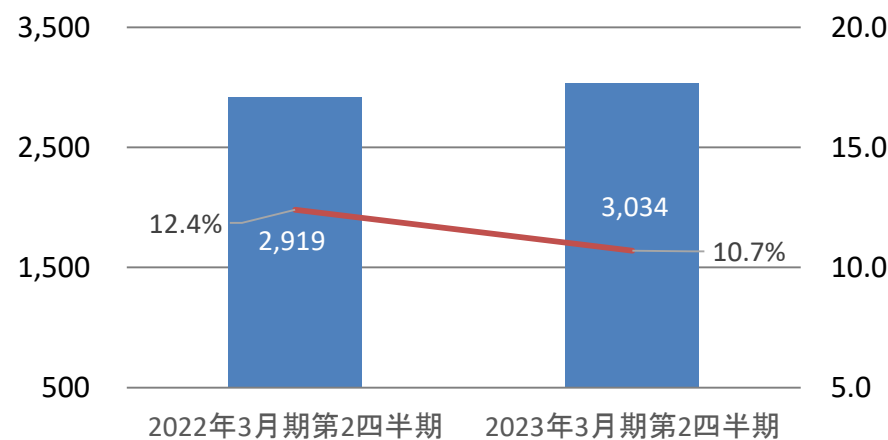
(単位:百万円/%)



国際事業(国際運送・国際利用運送(フォワーディング)・通関)



その他事業(不動産賃貸・商品販売・コンビニ・ボウリングなど)



■ 売上高

— 利益率

# 4. 運賃是正と顧客構造改革

## 輸送4要素

(前年同期比/単位: %)

	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価
小口貨物	97.4	100.0	98.3
商業小口	99.2	99.4	99.8
商業貨物	100.2	101.0	101.1
重厚長大	100.2	100.5	101.1
全体	99.4	100.3	100.2

## 運賃占有率

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年 同期比
小口貨物	28.7	28.6	99.7
商業小口	24.5	24.4	99.6
商業貨物	22.5	22.6	100.4
重厚長大	24.3	24.4	100.4

## 重量占有率

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年 同期比
小口貨物	18.5	18.7	101.1
商業小口	23.5	23.5	100.0
商業貨物	27.2	27.1	99.6
重厚長大	30.8	30.7	99.7

\* 当社の荷物分類定義

小口貨物: 1件1個30kg以下

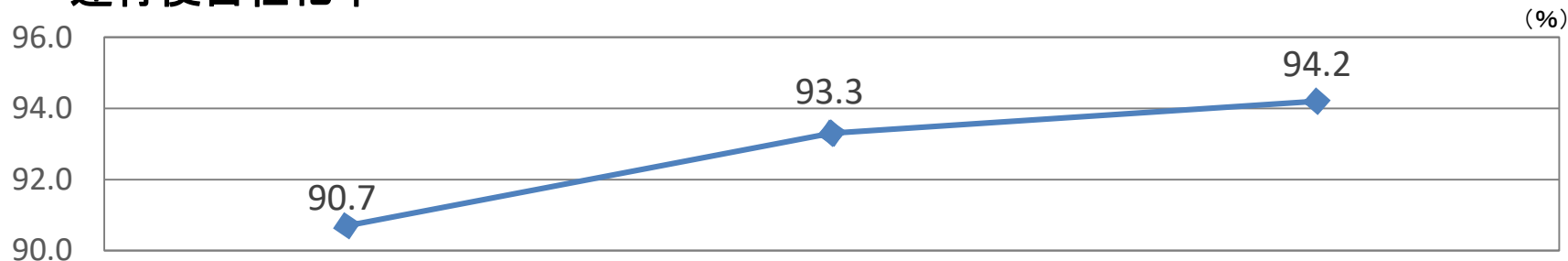
商業貨物: 1件6個121kg以上

商業小口: 1件5個120kg以下

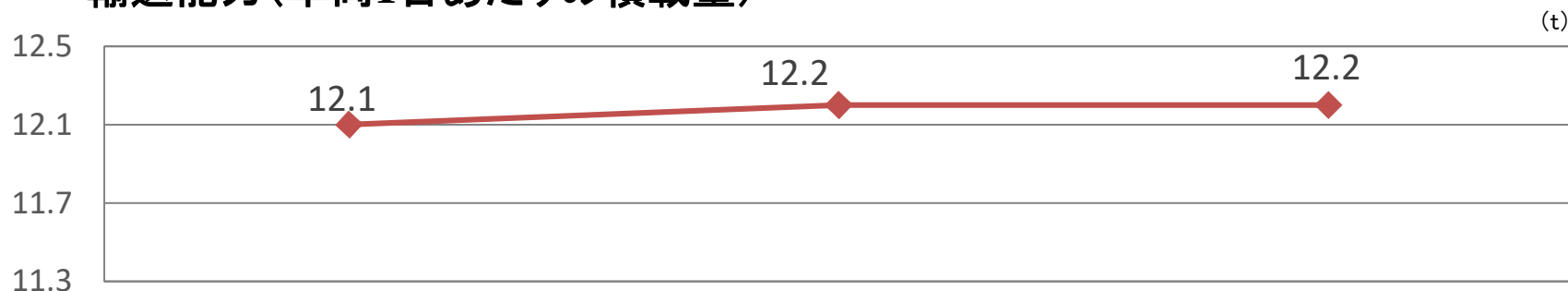
重厚長大: 1個100kg以上または1件500kg以上

# 5. 運行便指標の推移

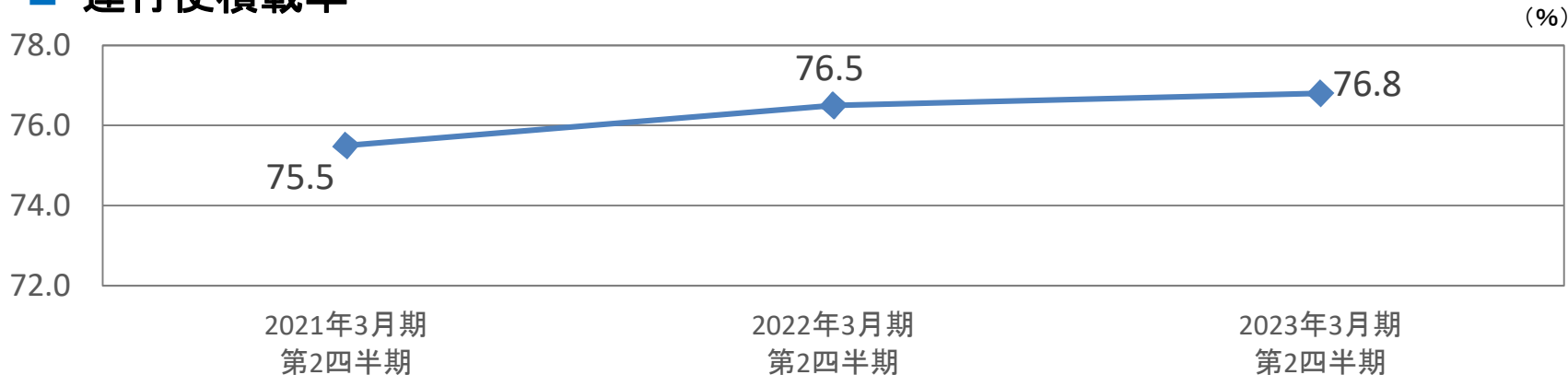
## ■ 運行便自社化率



## ■ 輸送能力(車両1台あたりの積載量)



## ■ 運行便積載率



# 6. 働き方改革(生産性向上に向けた取り組み)



## 雇用維持と生産性向上・労働環境の改善

### ■ 雇用維持と生産性の向上

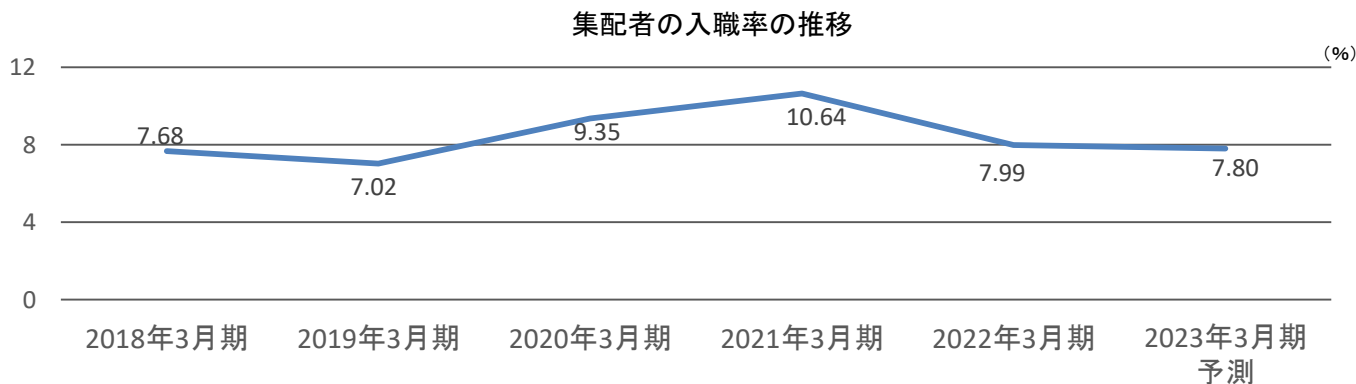
- ・リファラル採用(紹介制度)の推進 ⇒ 2022年度上期 126名入社
- ・集配コース・荷役作業見直し、適正運賃收受 ⇒ 集配者一人当り生産性(取扱運賃) 前期比 101.0%

### ■ 労働環境の改善

- ・全職種の総労働時間(所定外時間)削減 ⇒ 一人当り総労働時間減少 前期比 1.0%改善
- ・従業員に対する生活支援 ⇒ 特別手当の支給(2022年7月)

### 【2022年度の取り組み】

- ・グループ会社再編 ⇒ 統廃合による機動的な組織体制、賃金アップ・人員拡充による労働環境改善
- ・社内教育の拡充 ⇒ 新任管理職に対するマネジメント教育、幹部候補生に対してのスキルアップ研修の実施
- ・新職種の創設 ⇒ 短時間雇用の集配者等、柔軟な働き方を支援する職種の創設
- ・賃金制度の改定 ⇒ グループ全社の事務員・業務員の等級制度改定、営業施策に則った手当改定



# 7. 2023年3月期 連結業績予想

(単位:百万円/%)

項目	2022年 3月期実績	2023年 3月期予想	前期比
売上高	291,266	<b>296,800</b>	101.9
営業利益 (営業利益率)	22,091 (7.6)	<b>23,100 (7.8)</b>	104.6
経常利益 (経常利益率)	23,196 (8.0)	<b>24,400 (8.2)</b>	105.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	16,763	<b>21,900</b>	130.6





本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。内容については、細心の注意を払っておりますが、妥当性、正確性、有用性について保証するものではありません。将来の業績に関する内容が一部含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々な要因によって変動する可能性があることにご留意ください。投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。